

式辞

本日ここに、大阪府立泉尾高等学校第七十二回卒業証書授与式を挙行いたしましたところ、公私ご多用中にもかかわらず、大阪府教育委員会ご代表様はじめ、ご来賓のご臨席を賜り、卒業生の前途を祝福していただきますことに対しまして、高壇からではございますが、教職員を代表し、厚く御礼申し上げます。

次に、本日ご列席をいただきました保護者の皆様には、時に（ときに）ご苦勞もありませんでしたことと存じます。本日の卒業は、お子様方の努力の結晶であると同時に、絶えずお子様方を励まし、温かく育てこられました保護者の皆様方のご苦勞の賜物でもあります。心から敬意とお祝いを申し上げます。

さて、卒業生のみなさん、卒業おめでとう。君たちは今、泉尾高校での様々な思い出を胸に、将来の夢に向かって新たな一歩を踏み出そうとしています。

泉尾高校最後の新生生として見上げた満開の桜。夏が近づく新緑のグラウンドで先輩の大正白稜生たちと一緒に完全燃焼した最後の体育祭。就職試験の帰り、見上げた真っ赤な夕焼け。

この三年間の、楽しかったこと、苦しかったこと、悔しかったこと、嬉しかったこと、それぞれの体験はどれ一つとして無駄なものはありません。

みなさんの中には iPhone や iPad を使っている人も多いでしょう。それを創り出したアップルの創業者、スティーブジョブズが、スタンフォード大学で行った講演はよく知られています。その講演の中の言葉で今日みなさんにお伝えしたいのは、 **Keep looking. Don't settle.** という言葉です。

探し続けてください。決して立ち止まらないでください。

ジョブズは自分が創業したアップルという会社から一度追い出されます。そのあとみなさんもよく知っているトイ・ストーリーやカーズといったアニメを作ったピクサーという会社を作ったりするのですが、最後はまたアップルに舞い戻ることになり、 iPhone や iPad を作ります。

「アップルを追われなかったら、今の私は無かったでしょう。非常に苦い薬でしたが、私にはそういうつらい経験が必要だったのでしよう。最悪のできごとに見舞われても、信念を失わないこと。自分の仕事を愛してやまなかったからこそ、前進し続けられたのです。みなさんも好きなことを見つけてください。」

そしてこう続けます。「好きなことがまだ見つからないなら、探し続けてください。決して立ち止まってはいけない。」と。

今日はみなさんにとって泉尾高校との別れの日です。泉尾高校にとってもみなさんを送り出す今日が、最後の日となります。誰しも与えられた時間には限りがあります。貴重な人生の時間の中で、自分が愛してやまないこと、大好きなことを探し続けてください。

今まさに泉尾高校を卒業していくみなさんへのエールとして、もう一度、

Keep looking. Don't settle!

令和二年二月二十八日

大阪府立泉尾高等学校長 吉村 烈

大正10年(1921年)3月31日、本校の前身大阪府立第7高等女学校は産声を上げました。

当時の大阪、特に大正区は明治時代の東洋紡の工場進出に始まり、造船業の発展や、大正4年の大正橋の竣工、それに続く難波からの市電の開通、木津川運河の開削など、大阪の中でも重工業の盛んな地域として重視されていました。

翌年の大正11年4月、大阪府立泉尾高等女学校と校名を変更し、その年の6月には現在の泉尾の地に移転しました。府立高等女学校で初めて制服を制定し、府立高等女学校で初めての鉄筋コンクリート校舎で学び始めたのも本校です。

昭和23年(1948年)に、現在の今宮高等学校と生徒・教職員の交流を行い、共学の泉尾高等学校となりました。その後2年間にわたり、府立高等学校としての歴史を刻んできましたが、今日(2019年)の歴史を閉じることとなりました。

この長い年月の間に泉尾高等学校は同窓会の皆様を始めとした多くの皆様の深い愛情に支えられ、地域に根ざした学校として歳月を重ねてきました。

多くの皆様に見守られながら、大正15年の一期生 152名を始めとして、泉尾高等女学校時代に4000名あまり、泉尾高等学校として2万1000名、合わせて約25000名の泉尾生が巣立っていきました。

今卒業しようとする2期生は、再編整備による母校の閉校という深い思いを胸にしながら、体育祭や文化祭の行事をはじめとして、大正白稜高等学校の生徒たちとともに学校を創り上げてくれました。そのことをとてもうれしく思います。

泉尾という名前は閉校とともに歴史に刻まれることとなりますが、培ってきた伝統や校風は大正白稜高校において受け継いでいくこととなります。

最後に、今日まで温かく本校を見守り、多くの励ましと御支援・御協力を賜りました同窓会やPTA、そしてお世話になりました地域の皆様、新校としてさらに発展を重ねる大正白稜高等学校へ、一層の御支援と御厚情を賜りますようお願いいたします。

本日、御臨席賜りました皆さま様方の、ますますのこの発展を祈念申し上げます。式辞と致します。

令和二年二月二十八日

大阪府立泉尾高等学校長 吉村 烈